

北陸新幹線レポート 《第7号》

～響くつち音、広がる未来～

令和元年6月10日発行

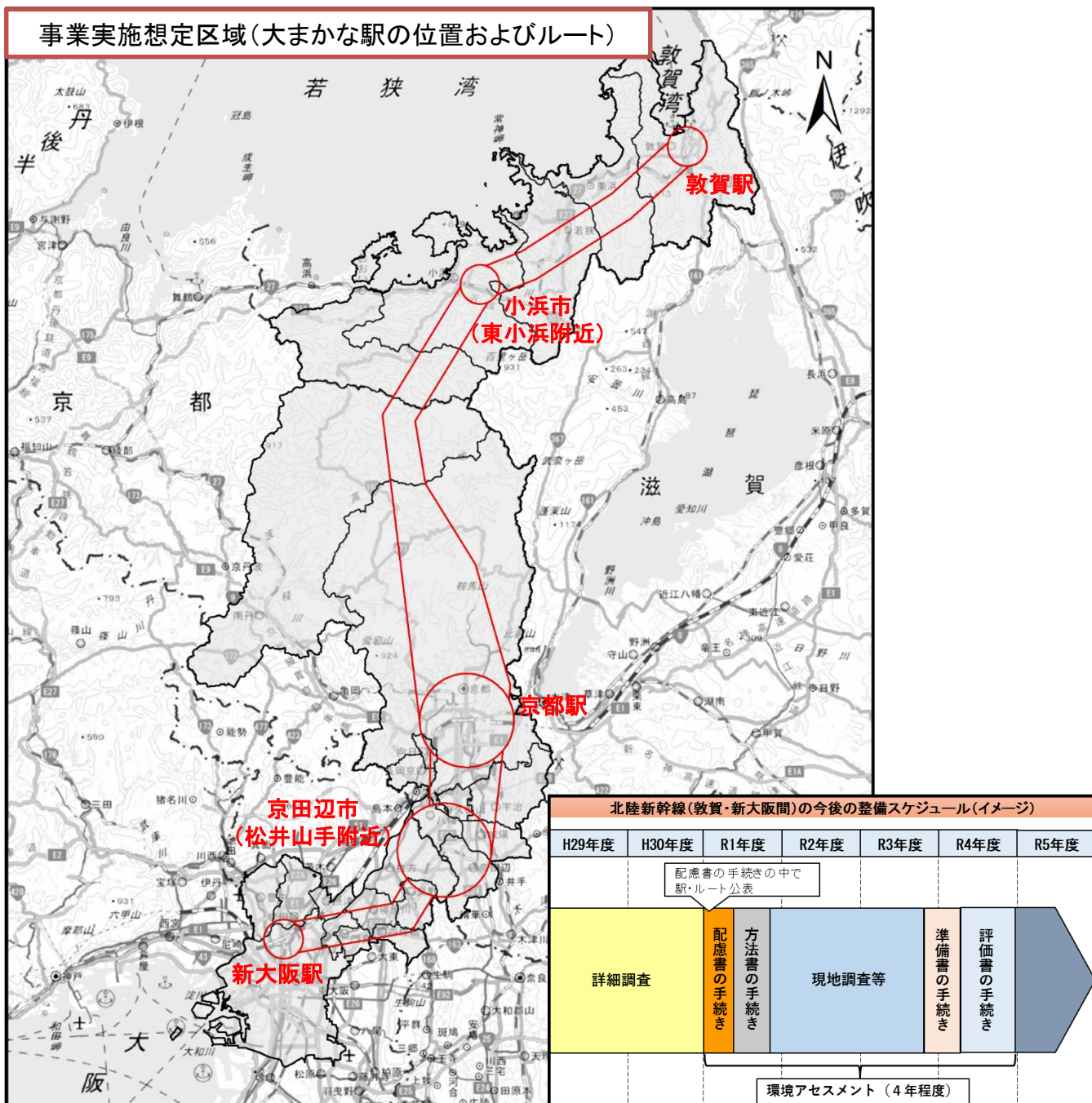
令和5年春に敦賀まで開業予定の北陸新幹線。現在、沿線では工事が着々と進められています。本レポートでは、県民のみなさんに100年に1度のプロジェクトである新幹線事業を見て、感じていただけるよう、今しか見ることができない工事の状況をはじめ、北陸新幹線に関する様々な情報を随時提供していきます。

敦賀・新大阪間の大まかな駅の位置およびルートが公表されました！

敦賀・新大阪間については、平成29年3月、敦賀駅から小浜市（東小浜附近）、京都駅、京田辺市（松井山手附近）を經由し、新大阪駅に至るルートに決定しました。

鉄道・運輸機構が、平成29～30年度に実施した詳細調査の結果を踏まえ、5月31日、環境影響評価法に基づく「計画段階環境配慮書」において、敦賀・新大阪間の大まかな駅の位置およびルートを公表しました。

今後、4年程度をかけ、事業実施による環境への影響を事前に予測し評価する環境アセスメントを進める中で、駅の位置やルートを絞り込んでいくことになります。



新幹線駅の実施デザインが決定しました！

敦賀開業時には、県内に4つの新幹線駅が設けられます。駅舎のデザインは、昨年3月に各市の推薦により決定した基本デザインをベースに、鉄道・運輸機構が実施設計を行い、今年4月、内装を含む実施デザインが決定しました。

駅舎のデザインは、伝統、文化、歴史など地域の特色を反映。県産スギ材や笏谷石、越前和紙など福井県ならではの材料が、天井や柱、照明など様々な場所に活用される予定です。

芦原温泉駅

デザインコンセプト

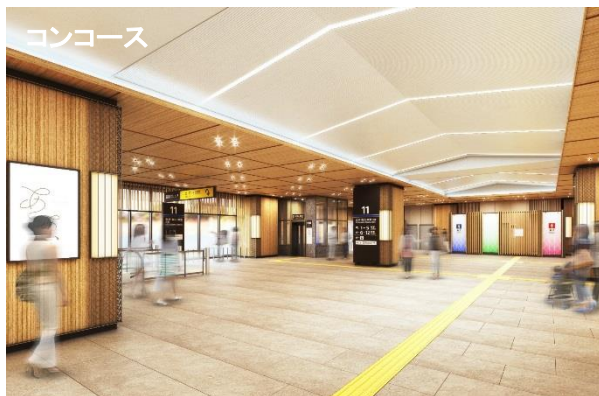
いで ぜい

「あわらの大地に湧き出る贅の駅」

デザインイメージ **あわら温泉の癒しと旅情が漂う駅**



外観



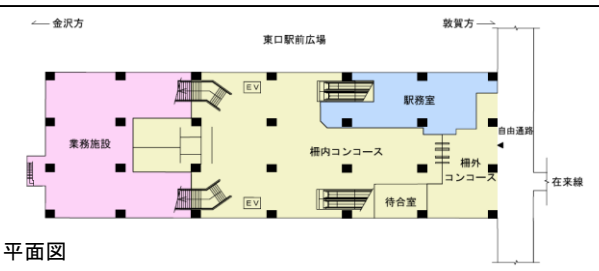
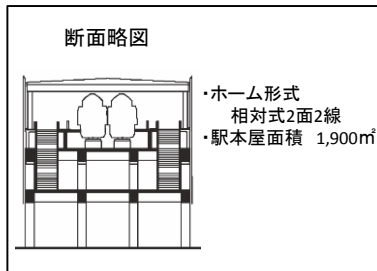
コンコース

温泉街らしい和の趣のある空間とし、中央部には柔らかな間接照明を施した折り上げ天井をデザインすることにより、暖かみのある室内空間を演出



ホーム

外壁側に木調の落ち着いたイメージの日除けを設け、待合室は温泉街らしさをイメージしたデザイン



福井駅

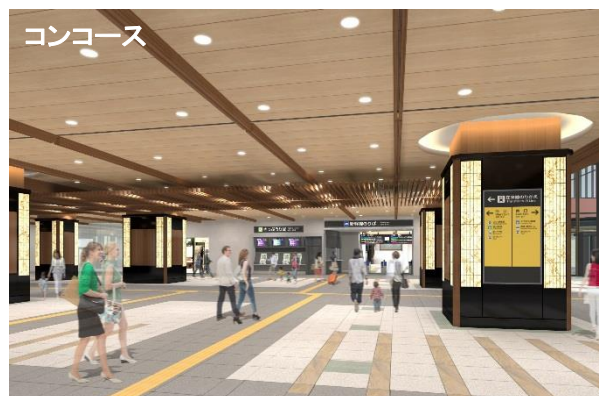
デザインコンセプト

「太古から未来へ～悠久の歴史と自然がみえる駅～」

デザインイメージ **悠久の歴史を未来へつなぐシンボルゲートとなる駅**



外観



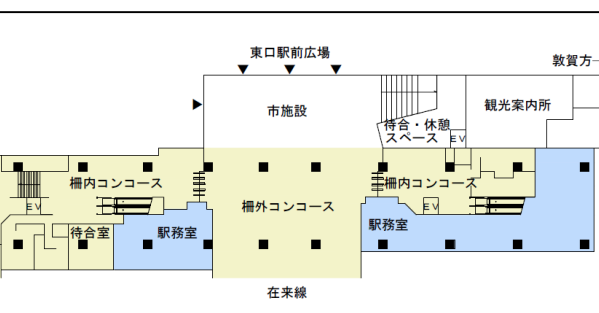
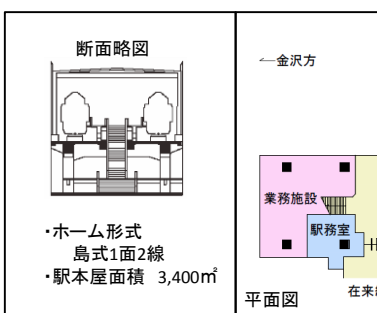
コンコース

天井に県産のスギ材、柱に越前和紙、床に笏谷石を使用するなど、福井らしい悠久の歴史と重厚な和の空間をイメージ



ホーム

屋根のトップライトから差す木漏れ日のような光と天井のルーバーや床の木調タイルにより、ゆっくりとくつろげる空間を演出



南越駅(仮称)

デザインコンセプト

「伝統・文化を未来につなぐシンボルとしての駅」

デザインイメージ **コウトリが飛翔する未来への道標となる駅**



外観



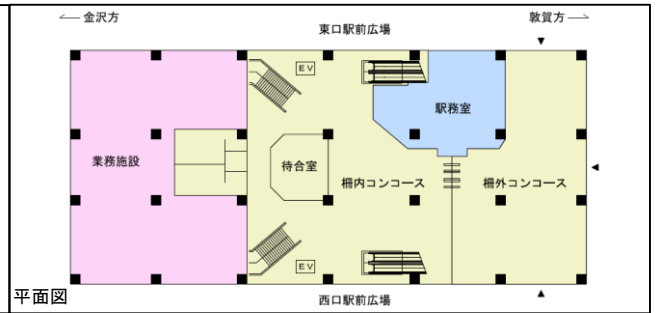
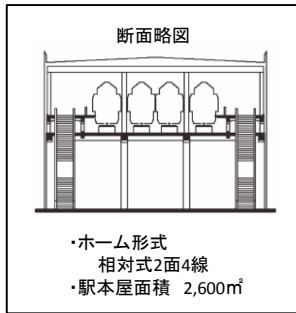
コンコース

柱を漆塗りや越前指物で装飾。天井に越前和紙の技法「流し漉(ず)き」の動きをダイナミックに表現した和紙照明を設置し、全体を落ち着いた色調でデザイン



ホーム

外観デザインと合わせたモノトーン調とし、待合室は格子戸や白壁をあしらった地域の伝統・文化が感じられるデザイン



敦賀駅

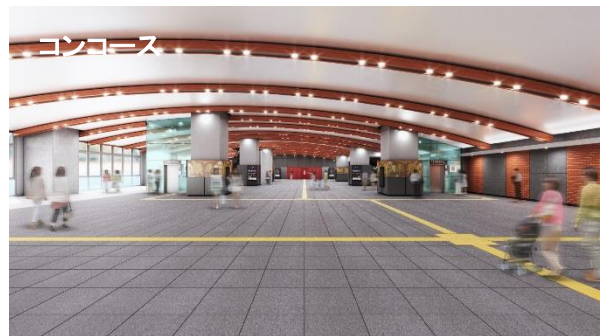
デザインコンセプト

「空に浮かぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」

デザインイメージ **煌めく大海から未来へ飛翔する駅**



外観



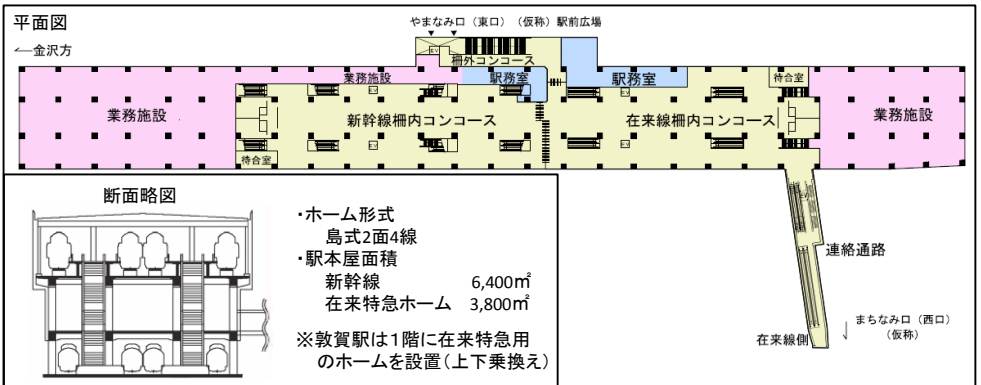
コンコース

天井は北前船の帆をイメージしたスケール感の大きなデザインとし、壁面は赤レンガ倉庫をイメージしたデザイン



ホーム

床は木調タイルで仕上げ、船の甲板をイメージ。待合室は船をモチーフとしたデザイン



県庁に駅舎の模型を展示します。

6月17日(月)から21日(金)まで、県庁の1階ホールで4駅舎の模型やパネルを展示します。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

問い合わせ先 県新幹線建設推進課 (TEL: 0776-20-0298)



南越駅(仮称)の模型

福井駅東口拡張施設の実施デザインも決定しました！

新幹線福井駅を県都にふさわしいゆとりある駅とするため、福井市が新幹線駅東側に整備する拡張施設の実施デザインが決定しました。内装に県産スギ材を使用。誰もが憩えるおもてなしの空間となっています。



拡張施設



屋上広場



階段広場

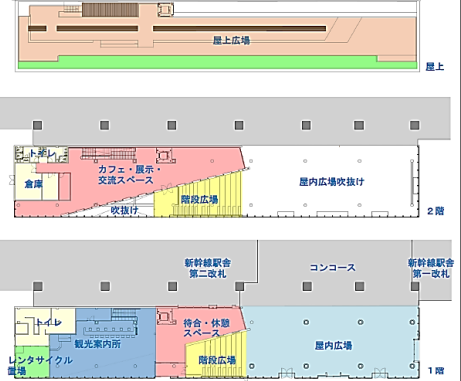


屋内広場

【拡張施設の概要】

- (1) 施設規模 鉄骨2階建て 高さ約10m
延床面積 約1,600㎡
- (2) 主な施設
 - 1階 観光案内所(県内全域の観光情報を発信)、待合・休憩スペース
階段広場、レンタサイクル
 - 2階 カフェ・展示・交流スペース
 - 屋上 広場

(平面図)



福井駅周辺のまちづくり ～県都の玄関口にふさわしい活力と魅力ある都市拠点～

平成4年度から行われてきた福井駅周辺の土地区画整理事業が平成31年3月に完了しました。鉄道高架化や駅前広場の再整備、アオッサやハピリンの再開発事業などにより、交通結節機能や商業機能が強化され、中心市街地にふさわしい都市機能が備わりました。

今後は、新幹線駅舎および拡張施設の整備や福井駅周辺における再開発事業など新幹線開業に向けた県都のまちづくりを進めていきます。

西口整備

バスターミナルと福井鉄道の電停を配置したほか、賑わい創出のため、ハピリンや屋根付き広場ハピテラスなどを整備しました。ハピテラスでは、様々なイベントが実施されており、駅前の賑わい創出につながっています。

また、恐竜モニュメントや恐竜壁画などを設置し、恐竜王国福井のPRも行っています。



平成3年



現在

東口整備

観光バスおよび高速バス乗降場を配置し、生涯学習機能を持つ公益施設と集客機能を持つ商業施設との複合施設アオッサを整備しました。

また、福井県出身の内閣総理大臣岡田啓介などの像を設置し、郷土の歴史を偲ぶ場所にもなっています。



平成9年



現在

発行：福井県地域戦略部新幹線建設推進課
〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1
Tel：0776-20-0298
Email:shinkansen@pref.fukui.lg.jp
写真提供：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構



建設現場の定点写真をホームページで公開中！

福井県 新幹線工事

検索